

私たちの生活と上水道・下水道の関係について考えよう

1. フィールドワークのねらい

私たちの生活は、様々なインフラストラクチャー（社会基盤施設）に支えられています。そのような施設に上水道や下水道があります。そこで、100年以上も前から使われている宇土市の上水道、現在の熊本市の上水道、さらに下水道の施設を見学し、私たちの生活との関係を考えていきたいと思います。地球環境問題に配慮したインフラストラクチャーの今後のあり方を考えてみましょう。

インフラストラクチャー：

基礎となる施設。

具体的には、水道、電気、ガス、鉄道、港湾施設、道路など産業基盤の社会資本のほかに、学校や病院、公園、緑地、社会福祉施設などの生活関連の社会資本も含む。

2. 日程

・ 9月07日（水）10:20～ 設備システム実験室にて

事前講義。フィールドワークのねらいなどの説明。

・ 9月15日（木） 08:15 県立大学管理棟前集合←厳守のこと！！

8:20 出発

バスで移動

09:30 頃～10:45 頃 宇土市轟水源・轟泉水道の見学

(宇土市教育委員会文化振興課 松下様 電話：0964-23-0156)

バスで移動

12:00 頃～14:00 頃 熊本市水の科学館の見学と昼食（八景水谷公園にて、各自で準備のこと）

(熊本市八景水谷1丁目11番1号 小出様 電話：096-346-1100)

バスで移動

14:30 頃～16:30 頃 熊本市東部浄化センターの見学

(熊本市秋津町秋田 536, 電話：096-328-2925)

バスで移動

17:00 頃 県立大学帰着予定

3. 事前学習課題

以下の課題について大学附属の図書館や県立図書館などで調べて、A4 サイズ 1 枚(書式は自由。枚数は増えてもかまわない。ただし氏名を入れておくこと)にまとめてください。ただし、単にホームページ上の記事をコピーしただけの内容は認めません。

レポートは、9月15日に大学に集合した際に辻原へ提出してください。その際、自分のためのコピーもしくは控えをとっておくこと。

・社会を支える基盤施設としての上下水道について

上下水道の施設は、どのようなものを含むのか。どこにあるのか。どのような経緯で整備されてきたのか。整備する際の注意点は何か。どのように施設を利用しているのか。利用する上での注意点は何か。など、社会を支える施設という観点から考えた上下水道施設について、調べてください。

注) 上下水道の水質基準そのものについて調べてるものではありません。

4. 最終レポート課題

10月14日(金)までに、以下のような課題についての A4 サイズ 1 枚(書式は自由。枚数は増えてもかまわない。ただし専攻名、学籍番号、氏名を入れておくこと)のレポートを、

・環境共生学部・旧棟 4 階辻原研究室 (096-383-2929 (内線 492), m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp)

もしくは岡本助手室 ((内線 482), okamoto@pu-kumamoto.ac.jp)

まで提出してください(質問も上記まで)。

- 1) 事前課題レポートの内容と見学した内容には、どのような違いがありましたか? 見学によって、どのようなことが 新たにわかりましたか?
→その際に、コピーもしくは控えをとっておいた事前レポートを参照すること。
- 2) 上下水道施設が現在抱える問題点を、今後、どうすれば解決できると思いますか?
- 3) その他、気付いたことや考えたことなど。
- 4) 最後に、辻原担当分のフィールドワーク全体を通しての感想も書いてください。

注 1) 辻原は、出張のため 9 月 25 日 (日) から 10 月 7 日 (金) まで、大学を不在にします。

注 2) 成績の評価は、出席点、事前レポート、最終レポートの評価を総合した結果とします。